

○委員長（鈴木庄市）

続きまして、議案第30号 平成25年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算を議題とします。細部説明を担当課長に求めます。

保険健康課長。

○保険健康課長（田辺弘子）

では、予算書313ページをお開きください。

議案第30号 平成25年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算。

平成25年度開成町の後期高齢者医療事業特別会計予算は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算、第1条、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ1億5,466万1,000円と定める。

第2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

平成25年3月5日提出、開成町長、府川裕一。

では、続いて、314ページをごらんいただきたいと思います。第1表 歳入歳出予算、1款後期高齢者医療保険料から5款諸収入まで、続いて、歳出、1款の総務費から4款の予備費までとなっておりまして、

では、事項別説明書に基づきまして、ご説明をさせていただきます。まず、全体的なお話ですけれども、後期高齢者医療制度の保険料につきましては、2年に1回改定を行っております。平成24年度に保険料を改定いたしまして、25年度は2年目ということになっております。

神奈川県の後期高齢者の広域連合の試算によりまして、被保険者数といたしましては、平成24年度は、1,530人、25年度は1,640人で、110名ほどの増ということで見込んでございます。また、保険料の納付額につきましては、予定収納率99.01%といたしまして、平成24年度については、1億2,716万7,000円ございました。25年度につきましては、1億3,630万9,000円と914万2,000円の増となっております。

また、医療費の関係は、こちらの後期高齢者事業の特別会計と直接的には係りがないんですけれども、昨日ご説明させていただきました一般会計の歳出の民生費で、医療費の12分の1を一般会計のほうから支出をさせていただいております。

一人当たりの医療費そのものは、平成24年度80万5,996円ということになっておりましたけれども、25年度81万9,181円ということで見込まれておまして、一般会計のほうの12分の1の医療費となる市町村の定率負担につきましては、24年度は9,000万円台ということで、9,067万円ということで9,000万円台なんですけれども、25年度につきましては1億円台ということで、1億109万7,000円というような大変厳しい、こちらのほうもなっております。

では、66ページ、67ページをご覧いただきたいと思います。まず、5、後期

高齢者医療保険料ということで、現年度分の特別徴収保険料になります。先ほどご説明させていただきました広域連合で一応試算しました、1億3,630万9,000円に対しまして、保険料、特別徴収につきましては、65%を見込みまして、8,860万1,000円を見込んでございます。

続きまして、普通徴収保険料になります。こちらの割合としては、35%を見込みまして、4,770万8,000円となつてございます。こちら65%と35%は、実績に基づきまして割合を出してございます。

その下、過年度分の普通徴収保険料ということです。こちら、10万円を計上してございます。昨年、項目設定ということでさせていただいておりましたけれども、実態にあわせてということで、10万円を計上させていただいてございます。

督促手数料は3,000円ということで、こちらの実態にあわせてということで設定をしてございます。

続きまして、一般会計繰入金ということで、保険基盤安定繰入金になります。こちら低所得者に係る保険料の減額分とあと保険料の軽減による減額分の総額で、一般会計から繰り入れるものでございまして、県の負担が4分の3で、1,103万5,000円、町の負担が4分の1ということで決まっております、367万9,000円のトータルの額を繰り入れてございます。

その下、その他一般会計繰入金ということで、保険料徴収等に係る事務費の一般会計からの繰入分になってございます。

続いて、前年度繰越金195万円ほど計上してございます。

以下、延滞金から雑入までは項目設定になってございます。

最後、保険料還付金ということで、広域連合からの還付未済金の返還金ということで、こちらの実態にあわせて8万1,000円ということで計上させていただいてございます。

トータルといたしましては、対前年度比7.1%の伸びというような形になってございます。

続いて、歳出になります。まず、総務費の一般管理費です。こちら保険料の徴収等に係る事務費、レセプト点検員の賃金等になってございます。

その下、後期高齢者医療広域連合納付金ということで、1億5,112万4,000円という額で、対前年度と比較いたしまして7.5%の伸びになってございます。一般会計から繰り入れました保険基盤安定繰入金、先ほどご説明させていただきましたように、県の4分の3と町の4分の1のトータルの額、あと保険料現年度分、過年度分、あと延滞金を神奈川県後期高齢者医療広域連合に納付するものでございます。その一つ飛ばしまして、過年度保険料還付金ということで、前年同額にしております。最後、予備費ということで、130万円ほど計上させていただいております。

以上です

○委員長（鈴木庄市）

以上で議案第 30 号 平成 25 年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算についての説明を終了いたします。